

令和8年度ブロック研修会報告書【提出期限：3月末】

令和8年10月9日

全国保健師長会事務局 斉藤様

E-mail info-phn@jpha.or.jp

中国・四国ブロック

令和8年度ブロック研修会の実施結果について、下記のとおり報告します。

研修テーマ	未来を見据えた公衆衛生看護活動の展開 ～予防活動の実践、そして地域に根づく保健師活動の継承～
研修の概要	【日時】 令和8年9月5日（土）13時～16時15分 【場所】 かがわ国際会議場 ※後日、会員限定オンデマンド配信 【内容】 （1）開会あいさつ（2年目ブロック理事：青野） （2）全国保健師長会活動報告（西本副会長） ※35分間 （3）講演 ※90分間 テーマ：ウェルビーイングなまちづくりに向けた保健活動 ～マーケティングによる「対象者目線」での事業づくり～ 講師 東京大学大学院 医学系研究科 公共健康医学専攻 健康教育・社会学分野 准教授 鎌田 真光 先生 （4）休憩 （5）グループディスカッション ※45分間 （6）次期開催県の山口県あいさつ（1年目ブロック理事：長井） （7）閉会あいさつ（香川県支部長：小山）
意見交換の内容など	・ソーシャル・マーケティングは、『社会的によいという行動をいかに対象者に採用してもらうか』ということであり、謙虚な姿勢が大切だと思った。 ・「何」をやるかを先に決める事業づくりではなく、働きかけたい対象者（ターゲット）を明確にし、対象者の声を聴いて行動を起こすきっかけ（潜在ニーズ）を住民と一緒に探っていくという姿勢とプロセスが大切と学んだ。 ・老人クラブから「自分たちに聞いてくれたらよかったのに」と言われたことがある。対象者の声を聴くということを大切にしたい。 ・ターゲットを明確にするための前段階として、地域診断が必要だと思う。 ・普及事業の評価は『ゆ（有効性）・か（数）・い（維持）』と学んだ。数値化できない質的評価として、参加者へのヒヤリングを間に入れておくことが重要と学んだ。 ・地区分担制でないとみえないところがある。保健所は市町村と地域の強みを探していきたい。 ・困難事例の対応や新たな事業など、やらないといけないことは多いが、保健師の個から地域をみる視点という原点回帰を意識して活動したい。
報告者	香川県中讃保健福祉事務所保健対策第一課 青野美保 電話番号：(0877) 24-9962 アドレス： ag6328@pref.kagawa.lg.jp